

令和元年 三重県の観光に期待

今年のゴールデンウィーク（以下、GW）期間中の三重県の観光入込客数は前年を大きく上回った。改元に伴い、皇室とゆかりの深い伊勢神宮への参拝者数が増加し、世界遺産登録15周年を迎えた熊野古道周辺地域の施設への入込客数も増加した。改元の効果は今後しばらく継続するとみられ、さらに、3月に開通した新名神高速道路による渋滞緩和や、県南部で来年新たにオープンが予定されている観光宿泊施設の整備など、令和時代の三重県の観光に期待がかかる。

百五総合研究所

三重県のGW期間中の主要施設の観光入込客数(延数)

調査地点	平成31年 (10日間、人)	平成30年 (9日間、人)	対前年比	1日あたり対前年比
合計(21施設)	3,002,858	2,108,418	142.4%	128.2%
ナガシマリゾート	1,000,000	900,000	111.1%	100.0%
鈴鹿サーキット	131,550	106,450	123.6%	111.2%
伊勢神宮(内宮+外宮)	882,152	387,725	227.5%	204.8%
鳥羽水族館	66,972	46,936	142.7%	128.4%
志摩スペイン村	121,000	81,000	149.4%	134.4%
伊賀流忍者博物館	22,399	15,700	142.7%	128.4%
県立熊野古道センター	16,134	13,085	123.3%	111.0%
道の駅「熊野・花の窟」(お綱茶屋)	23,371	12,000	194.8%	175.3%
鬼ヶ城センター	25,967	18,549	140.0%	126.0%

資料：三重県観光局観光政策課資料より

1・令和元年GWの観光客 4割増加
平成から令和へと元号をまたぎ、多くの人が10連休となった今年のGW。改元を祝う催しが各地で行われ、観光地は多くの人で賑わった。三重県が今月11日に発表した、GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。

(延数) 前日4月30日の1・9倍となり、約300万人となり、前年のGW期間中(平成30年4月28日~5月6日、9日間)の約210万人を大きく上回った。GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。GW期間中(平成31年4月27日~令和元年5月6日、10日間)の県内主要観光施設(21施設)への観光入込客数は、前年同日の5・1倍、約300万人を大きく上回った。

伊勢神宮参拝者数(改元前後の変化)

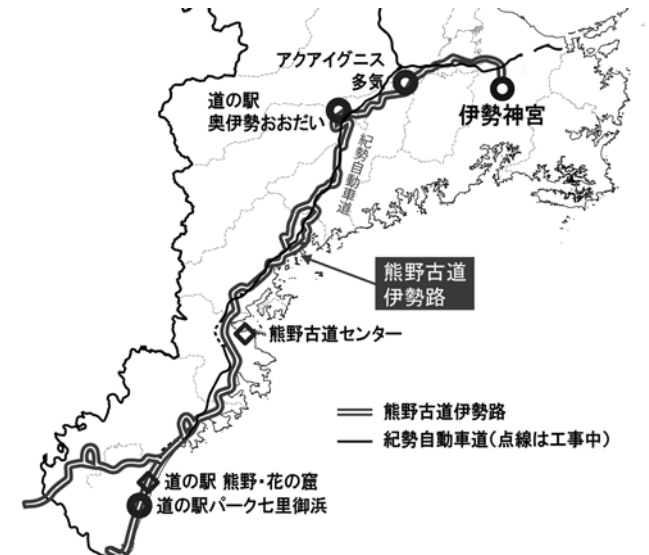
年次	参拝者数(人)
明治	44年 1,438,575
大正	元年 1,614,781
	14年 2,779,433
昭和	元年 2,914,130
	63年 6,234,142
平成	元年 6,255,656
	2年 6,761,233

日次	参拝者数(人)
平成	30年 4月30日 40,922
	30年 5月1日 33,904
	31年 4月30日 93,703
令和	元年 5月1日 174,019

※内宮+外宮 資料：上：伊勢市「平成30年伊勢市観光統計」、下：伊勢市(ゴールデンウィーク期間中の神宮参拝者数)より

5・観光施設等の整備 さらには令和2年は、これまで伊勢志摩を除き観光宿泊施設が手薄であった県南部地域で、注目度の高い施設が複数整備される予定である。同年2月、多気町に「アクアイグニス多気」が開業する。11年を記念し、5秒の広大な敷地に商業、宿泊、温泉、産直市場、葉草園、農場などが整備され、滞在型複合施設として一大リゾートのエリアとなる。秋には、大台町と御浜町に外資系のマリットホテルと積水ハウスが進めるロードサイド型ホテルが、「道の駅」に隣接して開業する。「道の駅」をハブとして、外国人観光客もターゲットに、車やバイク、自転車などで「地域の魅力を渡り歩く旅」を提案・提供する地方創生プロジェクトとして展開される。

熊野古道 伊勢路



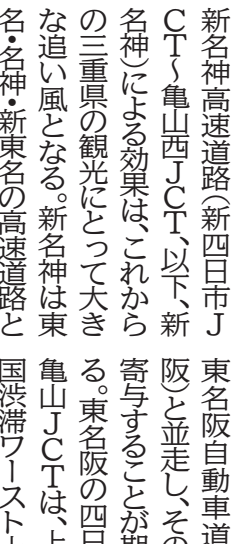
5・観光施設等の整備 さらには令和2年は、これまで伊勢志摩を除き観光宿泊施設が手薄であった県南部地域で、注目度の高い施設が複数整備される予定である。同年2月、多気町に「アクアイグニス多気」が開業する。11年を記念し、5秒の広大な敷地に商業、宿泊、温泉、産直市場、葉草園、農場などが整備され、滞在型複合施設として一大リゾートのエリアとなる。秋には、大台町と御浜町に外資系のマリットホテルと積水ハウスが進めるロードサイド型ホテルが、「道の駅」に隣接して開業する。「道の駅」をハブとして、外国人観光客もターゲットに、車やバイク、自転車などで「地域の魅力を渡り歩く旅」を提案・提供する地方創生プロジェクトとして展開される。

改元、高速開通・新拠点整備でポテンシシャル向上

6・新名神の開通、県内観光振興への期待
また、今年3月に開通した新名神高速道路(新四日市JCT~亀山西JCT)以下、新名神による効果は、これからの三重県の観光にとって大きな追い風となる。新名神は東名・名神・新東名の高速道路と一体となって、国土軸のダブルアップされるほど渋滞が激しい区間であった。国土交通省の調査によると、新名神の開通後は、東名阪自動車道(以下、東名阪)と並走し、その渋滞緩和に寄与することが期待されている。東名阪の四日市JCT、亀山JCTは、上下線とも全線渋滞フースト上位にランキングされ、約3割を占めた。しかし、新名神の開通1週間後、東名阪の交通量は約3割減少した。GW期間中にはNEXCOの渋滞予測区間から外れ、交通量は、昨年の東名阪10万6200台/日に対し、今年では新名神6万2400台/日、東名阪8万3600台/日と合計では増加したものの分散し、10キロ以上の渋滞回数は半分になり、20キロ以上の渋滞は昨年6回から1回に減少した。三重県の観光地を訪れる観光客の約7割は愛知県や大阪府などの県外からであり、その約8割は自家用車を利用している。このような現状を踏まえると、新名神の開通と東名阪の混雑・渋滞の緩和は、県内の観光振興につながることを期待される。

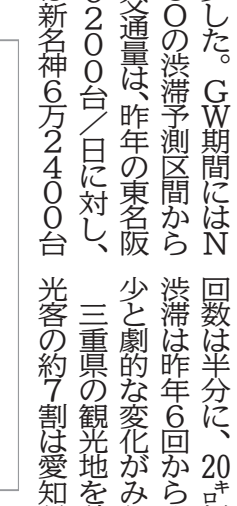
7・新名神開通による観光消費の向上
新名神の開通により、三重県内への観光消費が向上し、約480億円の経済波及効果が期待される。これは、交通費、宿泊費、土産費、飲食費などの直接的効果に加え、観光客の増加により、観光関連業、労働集約型でかつ裾野が広いことから、とりわけ三重県内の幅広い産業や雇用に大きな効果をもたらすと考えられる。新しい時代の幕開け、三重県の観光におけるポテンシャルは高まりつつある。この好機を生かし、令和の時代も魅力ある、選ばれる観光県となることを期待したい。

7・新名神開通による観光消費の向上
新名神の開通により、三重県内への観光消費が向上し、約480億円の経済波及効果が期待される。これは、交通費、宿泊費、土産費、飲食費などの直接的効果に加え、観光客の増加により、観光関連業、労働集約型でかつ裾野が広いことから、とりわけ三重県内の幅広い産業や雇用に大きな効果をもたらすと考えられる。新しい時代の幕開け、三重県の観光におけるポテンシャルは高まりつつある。この好機を生かし、令和の時代も魅力ある、選ばれる観光県となることを期待したい。



資料：筆者作成

新名神開通後のGW期間中の交通量・渋滞発生回数(東名阪)



※新名神(新四日市JCT~亀山西JCT)、東名阪(四日市JCT~亀山JCT) ※H30GW(2018年4月27日~5月7日、11日間)、H31(R1)GW(2019年4月26日~5月6日、11日間) 資料：NEXCO中日本(2019年5月7日ニュースリリース)より

新名神(三重県区間)および周辺主要道路の整備状況

資料：筆者作成

新名神開通後のGW期間中の交通量・渋滞発生回数(東名阪)



※新名神(新四日市JCT~亀山西JCT)、東名阪(四日市JCT~亀山JCT) ※H30GW(2018年4月27日~5月7日、11日間)、H31(R1)GW(2019年4月26日~5月6日、11日間) 資料：NEXCO中日本(2019年5月7日ニュースリリース)より

7・新名神開通による観光消費の向上
新名神の開通により、三重県内への観光消費が向上し、約480億円の経済波及効果が期待される。これは、交通費、宿泊費、土産費、飲食費などの直接的効果に加え、観光客の増加により、観光関連業、労働集約型でかつ裾野が広いことから、とりわけ三重県内の幅広い産業や雇用に大きな効果をもたらすと考えられる。新しい時代の幕開け、三重県の観光におけるポテンシャルは高まりつつある。この好機を生かし、令和の時代も魅力ある、選ばれる観光県となることを期待したい。

注1 国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所
注2 国土交通省、県沿線市町で構成された会議。2019年1月31日設立。